



岡山旭東病院
マスコットキャラクター
「モモコ」

健康讃歌

by 岡山旭東病院

患者さまのイメージをスタッフが共有。
正しい知識と万全の体制で嚥下障害治療に挑む。



リハビリテーション課
言語聴覚士 藤田圭絵

嚥下障害という疾患をご存知だろうか？ 主には脳卒中などが原因で、飲食物の咀嚼や飲み込みが困難になる障害をいう。嚥下機能が低下すると誤嚥性肺炎や呼吸器疾患にもつながるだけに早期の対処が必要だ。「当院では、脳に疾患のある患者さまには、まず『嚥下スクリーニング検査』を行いません。もし嚥下障害の兆候があれば、造影検査や内視鏡検査を行なって嚥下機能を詳細にチェックします」と語るのはリハビリテーション科の三浦医師。食べることは人間の大きな楽しみ、のひとつ。口から食べる機能が失われた時、患者のQOL(生活の質)の低下は計り知れないものがある。「実は、一番の嚥下訓練は食べることなんです。でもそれには当然、リスクが伴います。そこで当院では、検査段階での患者さまの嚥下器官の動きを、治療に携わるスタッフ、そしてご家族にも、しっかりとイメージしてもらおうよう心がけています。患者さまによっては、誤嚥している事に気付かず食事を続けてしまう場合があります。そういったケースを認識してもらうためにも嚥下造影検査を行なうことは有用と考えています」。



リハビリテーション科
医師 三浦忠俊

次に紹介するのは、言語聴覚士の藤田さん。本来なら失語症や呂律が回らない構音障害の指導・訓練が本業かと思いきや、嚥下治療にも言語聴覚士の存在が欠かせないという。「なぜ?」と思われるかもしれませんが、解剖学的には言語と食を司る部位は非常に近いんです。食べ方指導では、ひと口に食べる量を調整したり、患者さまに応じた嚥下食を指示したり、医師、看護師、栄養士、理学療法士、作業療法士、歯科衛生士と連携しながら指導にあたっています。リハビリ科に集う、各分野のエキスパートたち。患者はもちろん、その家族にも気を配った、きめ細やかな治療を実践している。

◆お問合せ／岡山旭東病院 ☎〇八六・二七六・三三三三
<http://www.kyokuto.or.jp>



第20回 岡山旭東病院・地域ふれあいフェスティバル

今年はお祭り。お待ちしております。
7/24 Sat 17:00~

年に一度、院内で行われる「岡山旭東病院・地域ふれあいフェスティバル」は病院と患者さま、地域の方々との交流を目的にしたお祭りです。例年は10月日中の催しですが、今年はお祭りになります。20回目を迎えた今回のテーマは「きずな ～ほっとコミュニケーション～」。ホールでのコンサート、患者さまの制作作品や職員華道部による生け花の展示、「メタボリックシンドローム」をテーマにした健康教室、屋台、アトラクションなど様々な催しを企画しています。詳細が決まり次第、ホームページ(<http://www.kyokuto.or.jp>)や院内掲示でお知らせします。ぜひ、ご参加ください。(駐車スペースに限りがありますので、当日はできるだけ公共交通機関をご利用ください)

パッチ・アダムスホール (院内1階多目的ホール) イベント案内

- ◆村上彩子ソプラノコンサート
7/2(金) 14時~14時40分
- ◆ピアノデュオ演奏会
7/13(火) 13時半~14時
- ◆病院見学ツアー【定員10名】
7/23(金)・8/27(金)
いずれも13時~15時半
- ◆第20回 岡山旭東病院・地域ふれあいフェスティバル
7/24(土) 17時~20時
- ◆ソプラノコンサート
8/11(水) 13時半~14時

- ◆パーキンソン病健康教室
8/14(土) 14時~16時
(会場:岡山ふれあいセンター 大ホール)
- ◆ピアノ・フルーツ演奏会
8/26(木) 13時半~14時

※どなたでもご参加いただけます。
「病院見学ツアー」と「パーキンソン病健康教室」は事前にお申込みをお願いします。
お申込みは企画広報室 ☎086-276-3231

掲載中のイベントは終了しました